

自動体外式除細動器(AED)の使い方

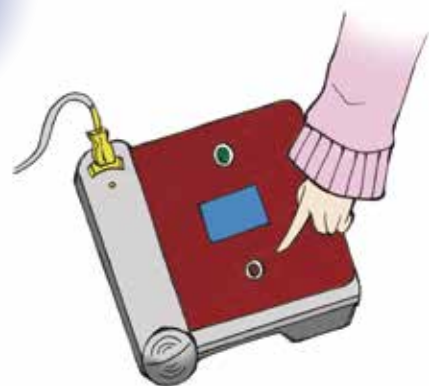


心臓突然死の多くは、生命に危険がある不整脈(心室細動)が原因です。

AEDは駅や学校などの公共施設に多く設置されており、心臓への除細動(電気ショック)を自動で行い、危険な不整脈の治療が行える機器です。電源を入れると音声流れますので、メッセージに従って使用してください。

「こどもの心肺蘇生」については、P28～P29をご覧ください。

1



危険な不整脈を治療するために使用します

AEDのふたを開けて電源を入れる。

2



電極パッドを体に密着するように貼る。貼る部位はパッドに描かれています。

成人用のものと同じ場所に貼るか、一方を胸の前面に、もう一方を背中に貼っても良いです。

3



AEDが心電図を自動的に解析し、電気ショックが必要かどうか判定し、音声で知らせてくれます。

4

ショックが必要な場合はショックを1回実施し、すぐに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を再開します。
ショックが必要でない場合は、そのまま胸骨圧迫を再開します。

注意!

心肺蘇生の途中でAEDを使用する際は、AEDの準備に時間がかかり、心肺蘇生の中断が長くないようにしてください。

こどもには…

- ◆ AEDに、小児用のモードがあれば「小児用モード」で。
- ◆ パッドも、小児用があれば、そちらを利用します。なければ成人用でもOKです